学校番号	１０１５

令和２年度　福祉科

教科	福祉科	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次のエリア指定科目介護福祉基礎で学んだ介護知識・技術を発展させ、校内実習・施設実習をおこなう。
施設実習を通じて、地域との連携をはかる。
福祉制度や福祉に関する問題を学習し、課題を考察する。

2　学習の到達目標

・利用者の自立の支援を目的とする介護の役割を理解するとともに、基礎的な介護の知識と技術を身に付ける。
・さまざまな介護場面の中で、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を実践に移す能力
と態度を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身に付けている。	介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付けている。	基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動を実践していく能力を身に付けている。	基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解し知識として身に付けている。
評価方法	校内・校外実習への取り組み 授業への取り組み	振り返りレポート 感想文	実技テスト	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期中間</td><td rowspan="3">私たちの暮らしと生活支援</td><td>1. 生活支援の理解</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 利用者の尊厳を重視した生活支援に関心を持ち、ＩＣＦの視点によるアセスメントの方法を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。
b: 介護の専門職を目指す者として、利用者の尊厳を重視した生活支援のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。
c: ＩＣＦの視点によるアセスメントに取り組む上で資料や事例を適切に活用し、実際の介護活動の取り組みについて的確に考えをまとめ発表することができる。
d: 利用者の生活、尊厳を重視した生活支援のあり方を理解した上で疾患、障害の形態、他職種が持つ役割、アセスメントの方法など必要な知識を身に付けている。</td><td rowspan="3">・学習状況の観察
・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等
・実技テスト
・定期テスト</td></tr>
<tr><td>2. 生活支援に向けたアセスメント</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">前期期末</td><td rowspan="4">自立に向けた生活支援技術</td><td>1. 居住環境の整備</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a: 利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。
b: ＩＣＦの視点に基づき、利用者の心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方を考え、的確に表現しようとする能力を身に付けている。
c: 日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を正しく実践に移すことができる。</td><td rowspan="4">・学習状況の観察
・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等
・実技テスト
・定期テスト</td></tr>
<tr><td>2. 家事の介護</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>3. 身じたくの介護</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>4. 移動の介護</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

後期中間		5. 食事の介護	○	○	○	○	d: 利用者と関わる上で必要な基本的、総合的な介護に関する理論について理解し、知識として身に付けている。	
		6. 入浴・清潔保持の介護	○	○	○	○		
		7. 排せつの介護	○	○	○	○		
		8. 睡眠の介護	○	○	○	○		
後期期末		9. レクリエーションにおける介護	○	○	○	○		
	終末期における介護技術	1. 終末期の介護	○	○		○	a: 終末期や緊急時の介護のあり方に関心を持ち、必要な知識・技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。 b: 終末期や緊急時における介護のあり方についてその望ましい方法を考え、的確に表現する能力を身に付けている。 c: 終末期や緊急時の介護に関する事例を題材に、実際の介護活動の方法について的確に考えをまとめ発表することができる。 d: 終末期や緊急時の介護のあり方についてその基礎的な理論を理解し、知識として身に付けている。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 緊急時の介護	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。